



竹田 英司

今月末の退部が決まった菅直哉
コーチは情熱家で人情に厚い人
だ。困っている人がいたら見て見
ぬ振りができない性分なのだろ
う。種々雑多な仕事を抱えて大変
そうに感じた私は「菅さんがコー
チ業に専念できるようにマネジャ
ー業務に励もう」と去年の今頃思
った。

思ったはいいが、菅コーチの指
導はバレーと同様に厳しかった。
自分のふがいなさに恥ずかしなが

情熱貫いた菅コーチ

ら悔し涙を流したことも一度や二
度ではない。今となつてはコーチ
の任期を終えるまでに、私を一人
前にしようと思いを鬼にして指導し
てくれたと感謝している。

今年2月、愛知・小牧大会に伴
い名古屋市のJT支社を訪問
した。社員の皆さまに激励して
いただき、私は選手の配置や指
名などで指揮を執った。その際、
菅コーチが「これで後は竹田さ
んにマネジャー業務を任せられ
ます」とこつそり耳打ちしてくれ
た。ようやく合格点をもらえた気
がして、うれしかったことを思い
出す。

昨年10月にリーグ開幕戦が長崎
県島原市で開催され、故郷に錦を
飾った菅コーチ。下部リーグとの
入れ替え戦や初優勝も経験し、数
多くの修羅場をくぐり抜けてき
た。今後社業に専念しても、ビジ
ネスマン人生の荒波を乗り越えら
れるはずだ。試合会場で応援席か
ら菅コーチの大声が響く日を心待
ちにしている。

(JT広島マネジャー)

試合中、コートを見つめる菅コ
ーチ(左)。右は小野寺太志選手

